



佐潟通信

2019年3月

67号

◆ 佐潟のようすⅠ 冬から春のようす・・・さくらの花はもうすぐ

今年は暖かな冬であったせいか佐潟のハクチョウは2月22日6羽を最後に、北へ帰っていきました。冬鳥たちで賑わっていた湖面は一気に寂しくなりました。例年より15日ほど早いようで、佐潟より南方で越冬したハクチョウが上空を通過したり、佐潟で一時的に羽根を休めたりするようすが見られました。2月下旬には、少し早い春の訪れに佐潟の動植物は敏感に反応していました。コガモやマガモなどは数少ないものの残っています。



佐潟 ハクチョウ飛来数推移 (2016・2017・2018年度)

◆今季最大数 5216羽 (コハクチョウ5067羽+オオハクチョウ149羽)



◆ 佐潟のようすⅡ

秋篠宮同妃両殿下がご視察になりました



1月23日の新潟開港150周年記念式典へのご臨席のために新潟市を訪れた秋篠宮同妃両殿下は、1月22日に赤塚中学校で佐潟の環境保全活動に関する総合学習をご覧になった後、佐潟水鳥・湿地センターをご視察になりました。当センターでは佐潟の概要や野鳥の解説をお聞きになり、また双眼鏡によるカモやハクチョウの観察にご興味をお示しになりました。両殿下はセンターに来館していた多くの市民に声をおかけになりました。

◆ 佐潟のようすⅢ

佐潟に春の兆し 上潟で見つけたセリ(芹)



湧き水が流れる上潟の大清水の水路で葉の緑色が鮮やかなセリを見つけました。セリという名前は、1箇所から競(せ)り合って生えることからついたと言われていています。セリは春の七草でも知られる旬の野菜で香りが強く葉っぱから根元まで食べられ万病を防ぐと伝えられています。水分の多い土壌を好み、田んぼの畔際や河川の水際などに自生しています。

◆ 佐潟のようすⅣ フォトコンテストの結果

【赤塚地域部門】グランプリ
「芽摘み」中野金吾氏 ↓

佐潟・赤塚地域の魅力を再発見

佐潟水鳥・湿地センターの開館20周年を記念し、佐潟と赤塚地域の自然や風物詩を撮影した写真を募集するフォトコンテストを開催しました。写真を通じて、多くの方々に佐潟や赤塚地域の魅力を知っていただくため、入賞作品は、西区内3カ所(新潟ふるさと村アピール館→佐潟水鳥・湿地センター→アピタ西店)を巡回します。また作品は新潟市HPでも公開中です。

【佐潟地域部門】グランプリ
「静寂の光輝」吉川一直氏 ↓



◆ 佐潟のようすⅤ 佐潟水鳥・湿地センター主催

写真教室

佐潟の自然をテーマに写真の撮り方のコツを学んでいただきました。見る人の感性に訴えかけるような写真を撮り続けてほしいです。



・コンサート①

新潟西おやこ劇場コカリナ合奏団による演奏。木製のオカリナであるコカリナの優しい音色に癒されました。



・コンサート②

シンガーソングライタールウさんの、ウクレレ演奏にのせた透明感ある歌声に、魅了されました。



・コンサート③

西区在住 風間 優さんは、スチールギターでなつかしの歌謡曲などを演奏していただき、素敵な音色を楽しみました。



私の佐潟文化祭

佐潟にまつわる作品を展示しました。地元小学生の作品、書、俳句イラストをたくさんお寄せ頂きました。



◆ 佐潟のようすⅥ

2019年4月始まり 佐潟 カレンダー

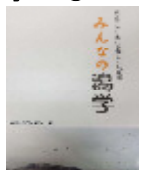
佐潟オリジナルカレンダー(A2サイズ)です。ご来館者様へ無料で差し上げています。どうぞご利用下さい。



書籍の紹介 みんなの潟学

ラムサール条約登録湿地「佐潟」や越後平野の湖沼をご案内
潟の魅力・自然と共生する地域が学べる

砂丘地帯の潟周辺の土地利用、佐潟の恵み、名産品、未来へ向けて潟と人とこれから、他



編集・発行 新潟市潟環境研究所

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内



ラムサール条約湿地

【開館時間】9:00~16:30(冬期間11月から2月の土・日は7:00から)
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月3日)

編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ担当
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。